

新城市土地改良区

○地域の魅力

当土地改良区は、愛知県東部、奥三河の玄関口となる新城市にあります。豊かな自然に恵まれ、戦国時代の歴史と伝統を色濃く残す地域です。「三河の嵐山」と呼ばれる桜の名所である桜淵公園や、紅葉が美しい鳳来寺山をはじめ、市内各所で、梅、新緑、紅葉など四季折々の景色を楽しめます。

設楽原歴史資料館には、「長篠・設楽原の戦い」で織田・徳川連合軍が使用した鉄砲が展示され、設楽原には馬防柵が復元されており、連合軍と武田の騎馬隊との激突の様子が思い浮かびます。また、戦死者を弔うための「火おんどり」や「乗本万灯」といった伝統行事は、400年以上も絶えることなく続いています。

○組織概要

受益面積	945.1ha
受益地	平成17年市町村合併前の旧新城市内
組合員数	2,490人
総代数	44人(2人欠員)
役員数	20人
設立	昭和36年(1961年)
職員数	3人

○取り組み

区域内の土地改良施設の維持管理に係る業務について、土地改良区財産の管理、また施設の改修、維持管理の組合員からの意見や要望をお聞きし、地域の自主的な取組への支援や地域の要望により、新城市が行う修繕及び工事に係る地域の負担に対しての支援を行っております。